

3 愛媛県のイメージ

問24 現在の愛媛県のイメージ

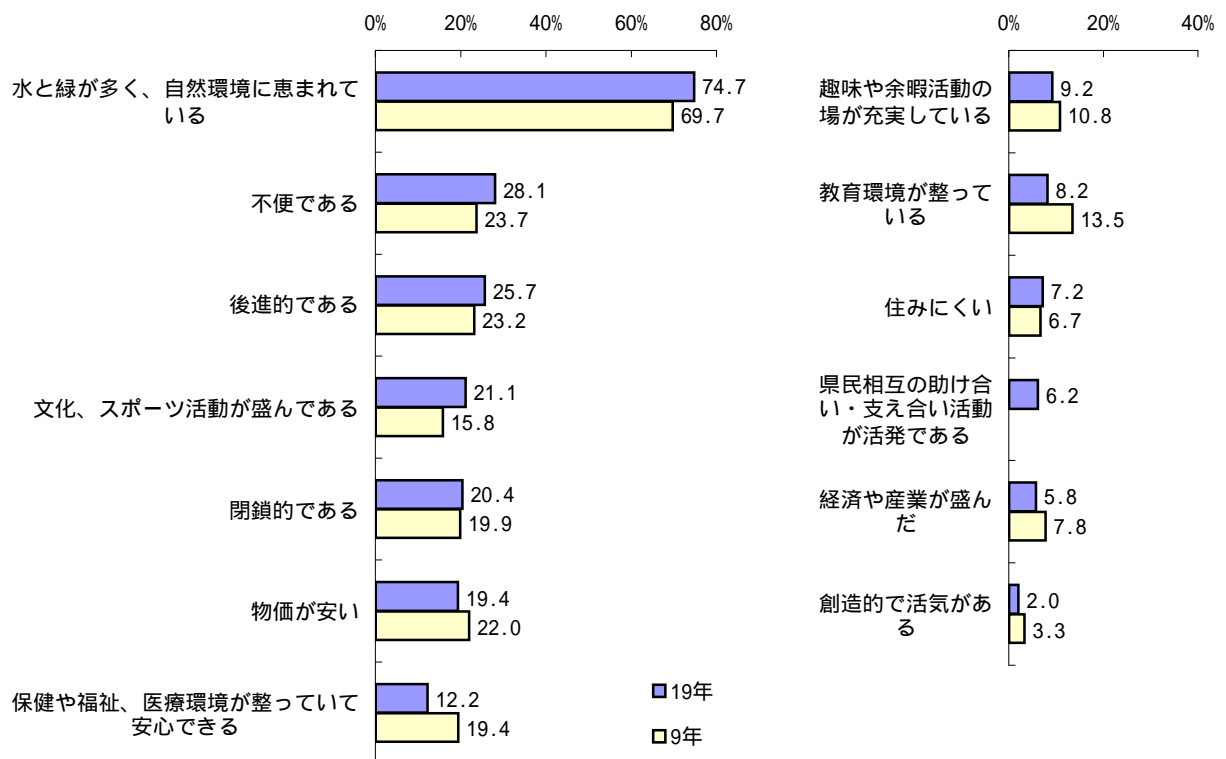
あなたの考える愛媛県はどんなところですか。あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

1	水と緑が多く、自然環境に恵まれている	74.7
2	物価が安い	19.4
3	経済や産業が盛んである	5.8
4	教育環境が整っている	8.2
5	保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる	12.2
6	趣味や余暇活動の場が充実している	9.2
7	文化、スポーツ活動が盛んである	21.1
8	創造的で活気がある	2.0
9	県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である。	6.2
10	後進的である	25.7
11	住みにくい	7.2
12	閉鎖的である	20.4
13	不便である	28.1
14	その他	5.0

愛媛県はどんなところかイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が74.7%と特に高く、以下「不便である」(28.1%)、「後進的である」(25.7%)、「文化、スポーツ活動が盛んである」(21.1%)、「閉鎖的である」(20.4%)などの順となっている。

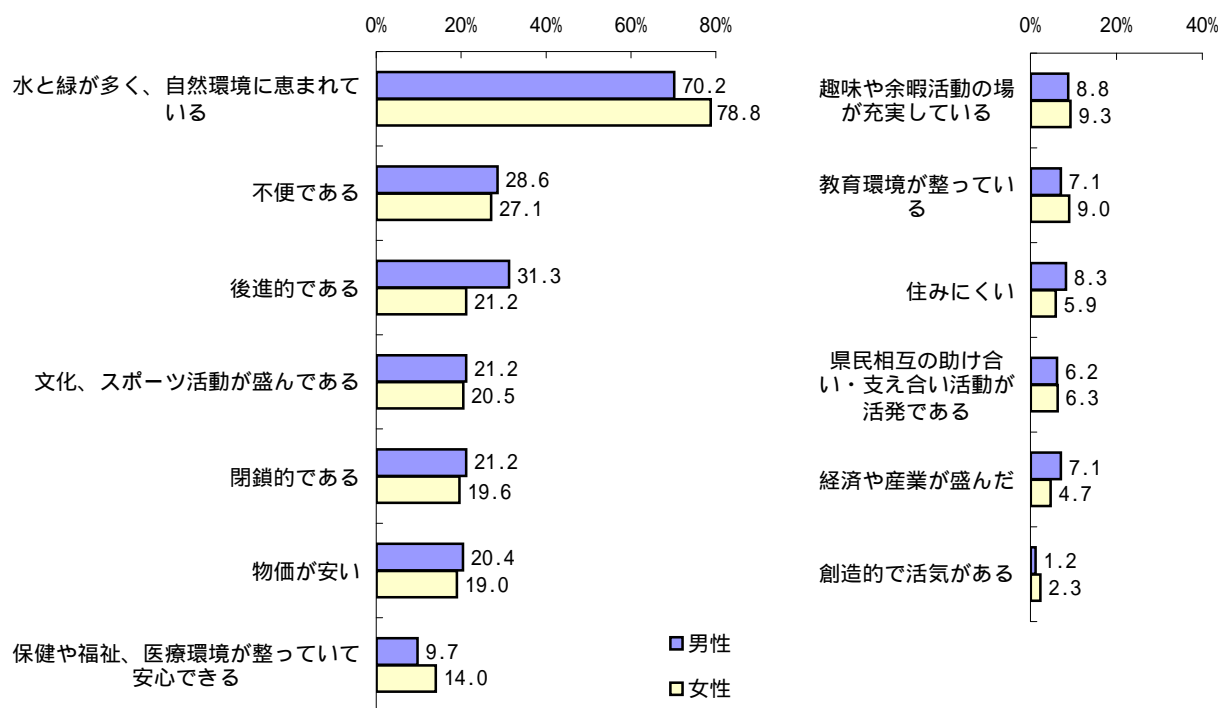
9年調査と比較すると、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」「不便である」「後進的である」「文化、スポーツ活動が盛んである」などの項目が増加し、「物価が安い」「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」「教育環境が整っている」などは減少した。



【性別】

性別にみると、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が、男性（70.2%）、女性（78.8%）ともに特に高くなっている。

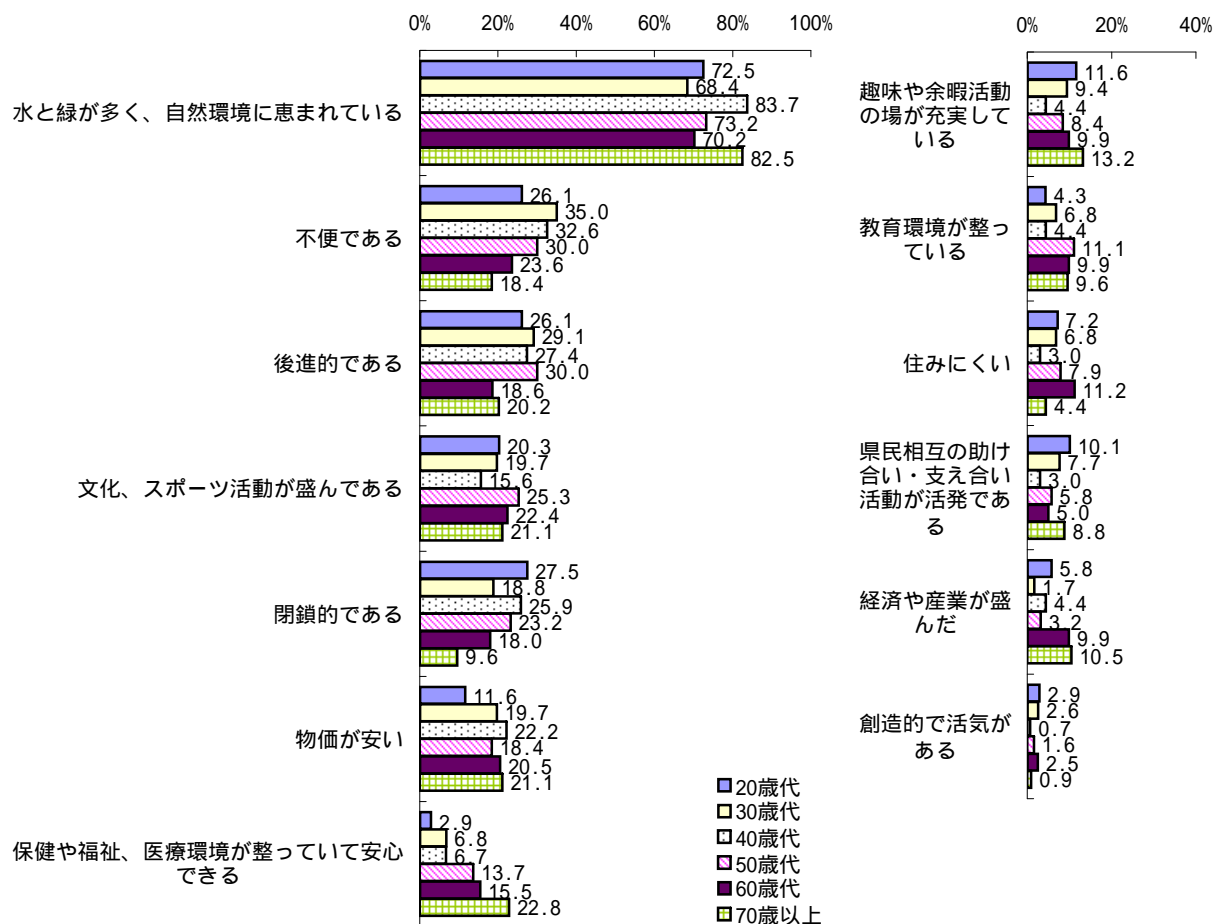
また、「後進的である」「住みにくい」「経済や産業が盛んだ」などと答えた人の割合は男性で、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」、「教育環境が整っている」などは女性で高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年齢層においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が高くなっており、中でも、40歳代と70歳以上では80%を超えており、特に高い。

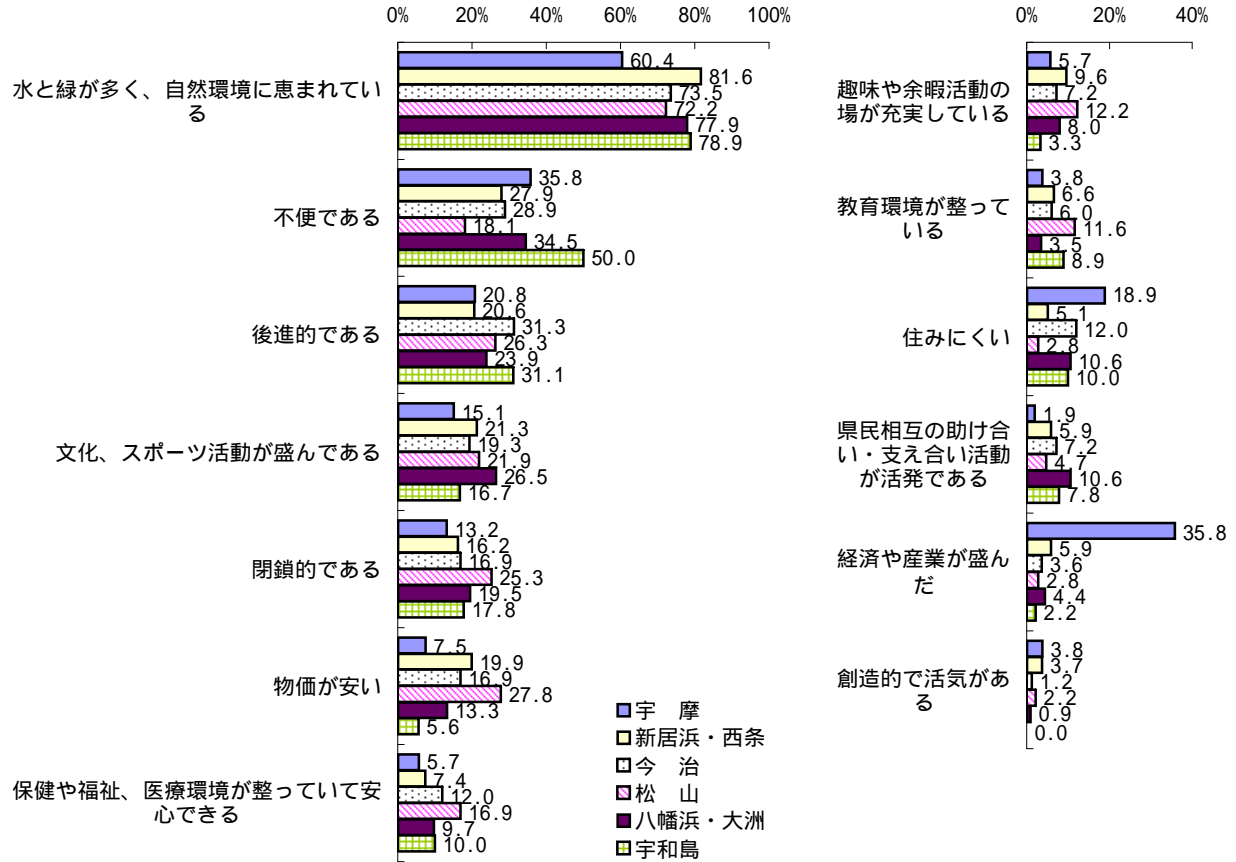
また、「不便である」は30歳代、「後進的である」「文化・スポーツ活動が盛んである」は50歳代、「閉鎖的である」は20歳代、「物価が安い」は40歳代で、他の年齢層に比べて高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、いずれの生活圏域においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が高くなっている。ただし、宇摩圏域では60.4%で、他の圏域に比べると低くなっている。

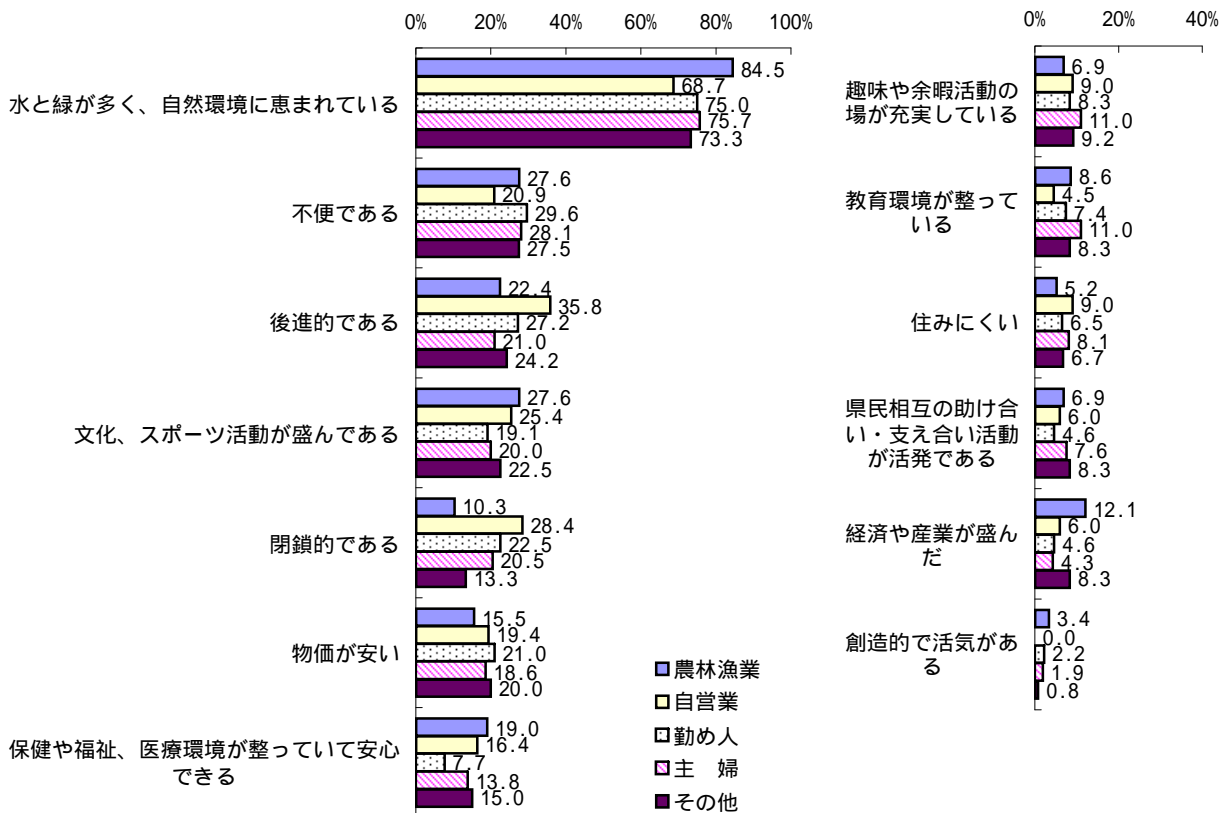
また、「不便である」は宇和島、「文化・スポーツ活動が盛んである」は八幡浜・大洲、「閉鎖的である」「物価が安い」は松山、「経済や産業が盛んだ」は宇摩圏域で高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、いずれの職業においても「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が高くっており、中でも農林漁業では84.5%と特に高くなっている。

また、「不便である」は勤め人、「後進的である」「閉鎖的である」は自営業、「文化・スポーツ活動が盛んである」は農林漁業で高くなっている。



問25 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

また、今後、愛媛県のあるべき姿について、あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

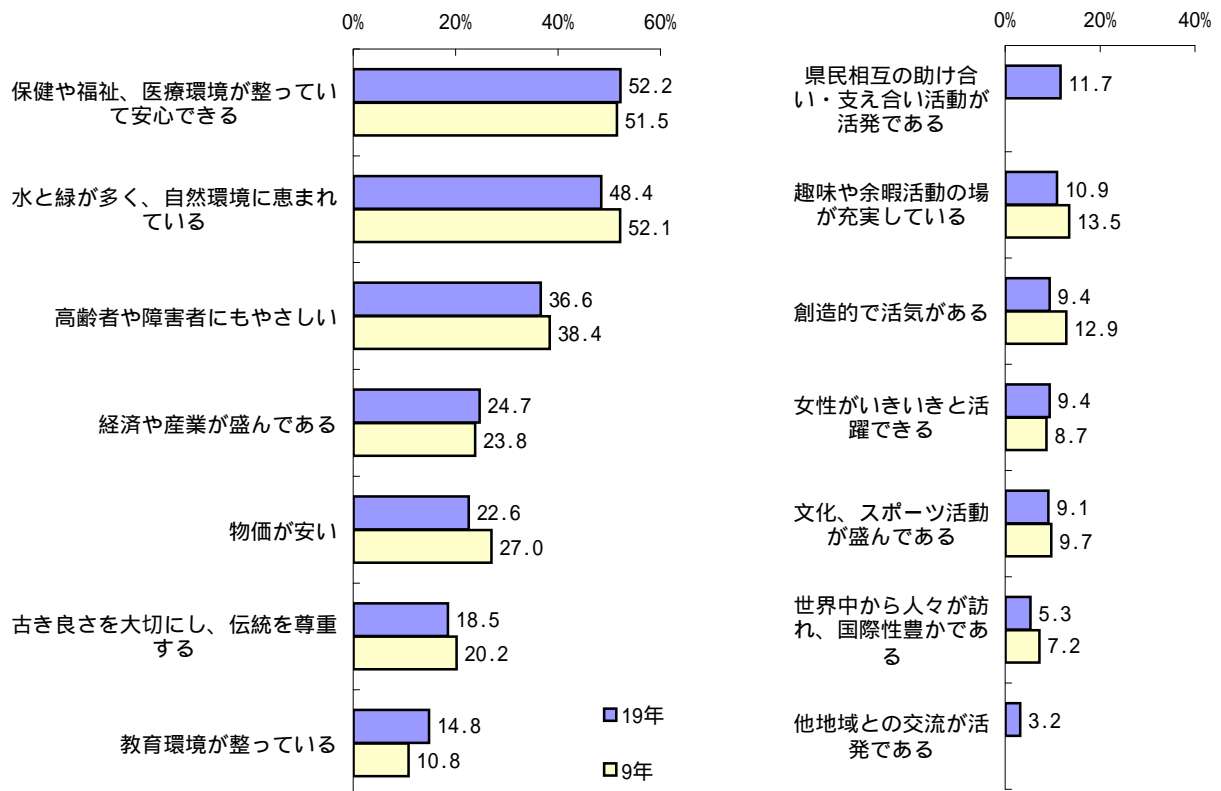
(複数回答) (%)

1	水と緑が多く、自然環境に恵まれている	48.4
2	物価が安い	22.6
3	経済や産業が盛んである	24.7
4	教育環境が整っている	14.8
5	保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる	52.2
6	趣味や余暇活動の場が充実している	10.9
7	文化、スポーツ活動が盛んである	9.1
8	創造的で活気がある	9.4
9	県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である。	11.7
10	古き良さを大切にし、伝統を尊重する	18.5
11	他地域との交流が活発である	3.2
12	世界中から人々が訪れ、国際性豊かである	5.3
13	高齢者や障害者にもやさしい	36.6
14	女性がいきいきと活躍できる	9.4
15	その他	1.8

(「11 他地域との交流が活発である。」は今回調査から)

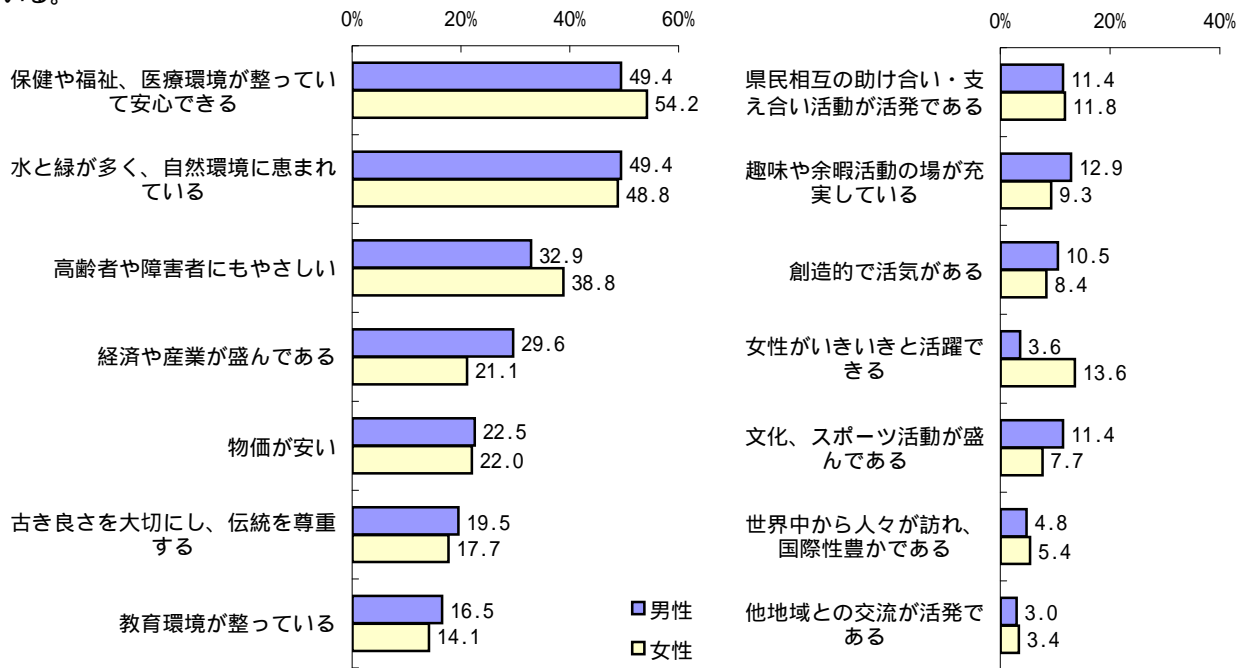
愛媛県の今後あるべき姿のイメージを聞いたところ、「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が52.2%と最も多く、以下「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」(48.4%)、「高齢者や障害者にもやさしい」(36.6%)などの順となっており、保健・福祉・医療分野への関心が高まっているとみられる。

9年調査と比較すると、「教育環境が整っている」は4.0ポイント増加し、「物価が安い」は4.4ポイント、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」は3.7ポイント、「創造的で活気がある」は3.5ポイント減少している。



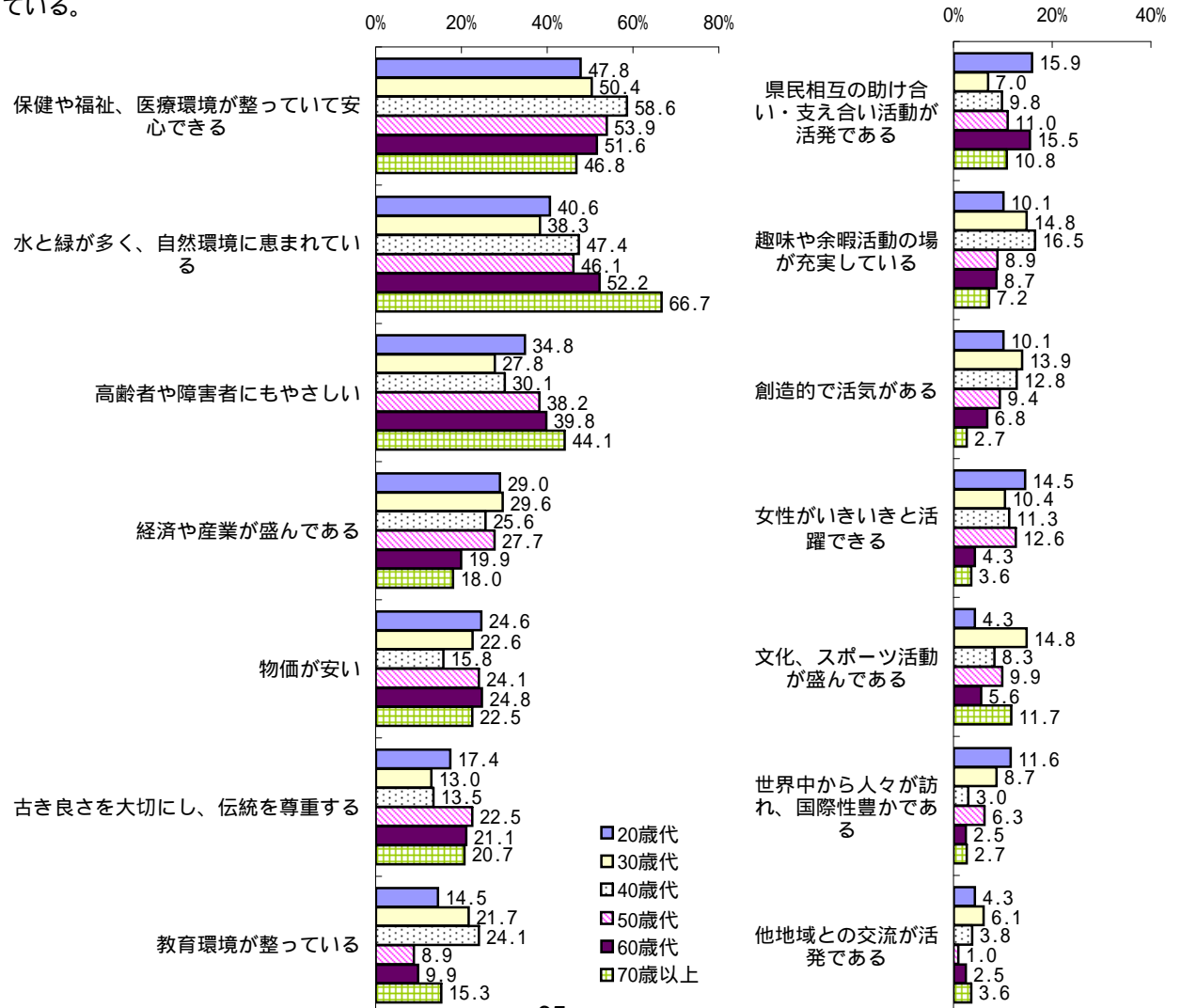
【性別】

性別にみると、男女とも「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」の割合が高い。また、女性では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」、「高齢者や障害者にもやさしい」、「女性がいきいきと活躍できる」などと答えた人の割合が高く、男性では「経済や産業が盛んである」、「趣味や余暇活動の場が充実している」、「文化・スポーツ活動が盛んである」などが高くなっている。



【年齢別】

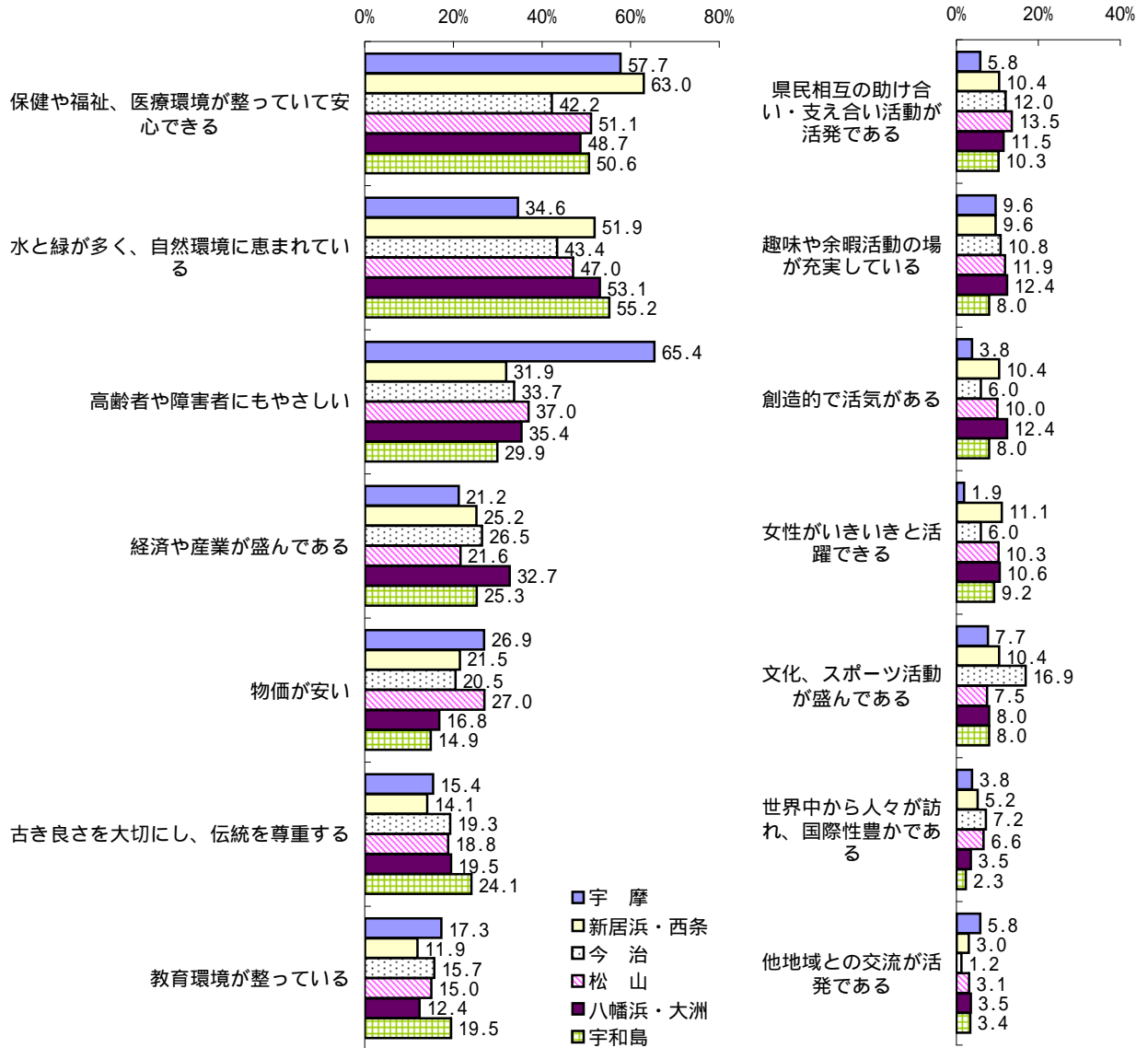
年齢別にみると、20歳代～50歳代では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、60歳以上では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も高くなっている。また、「高齢者や障害者にもやさしい」「古き良さを大切に、伝統を尊重する」は50歳以上、「経済や産業が盛んである」は50歳代以下、「教育環境が整っている」は30歳代～40歳代で、他の年齢層に比較して高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域では「高齢者や障害者にもやさしい」と答えた人の割合が、新居浜・西条圏域、松山圏域では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」が、今治圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」が最も高くなっている。

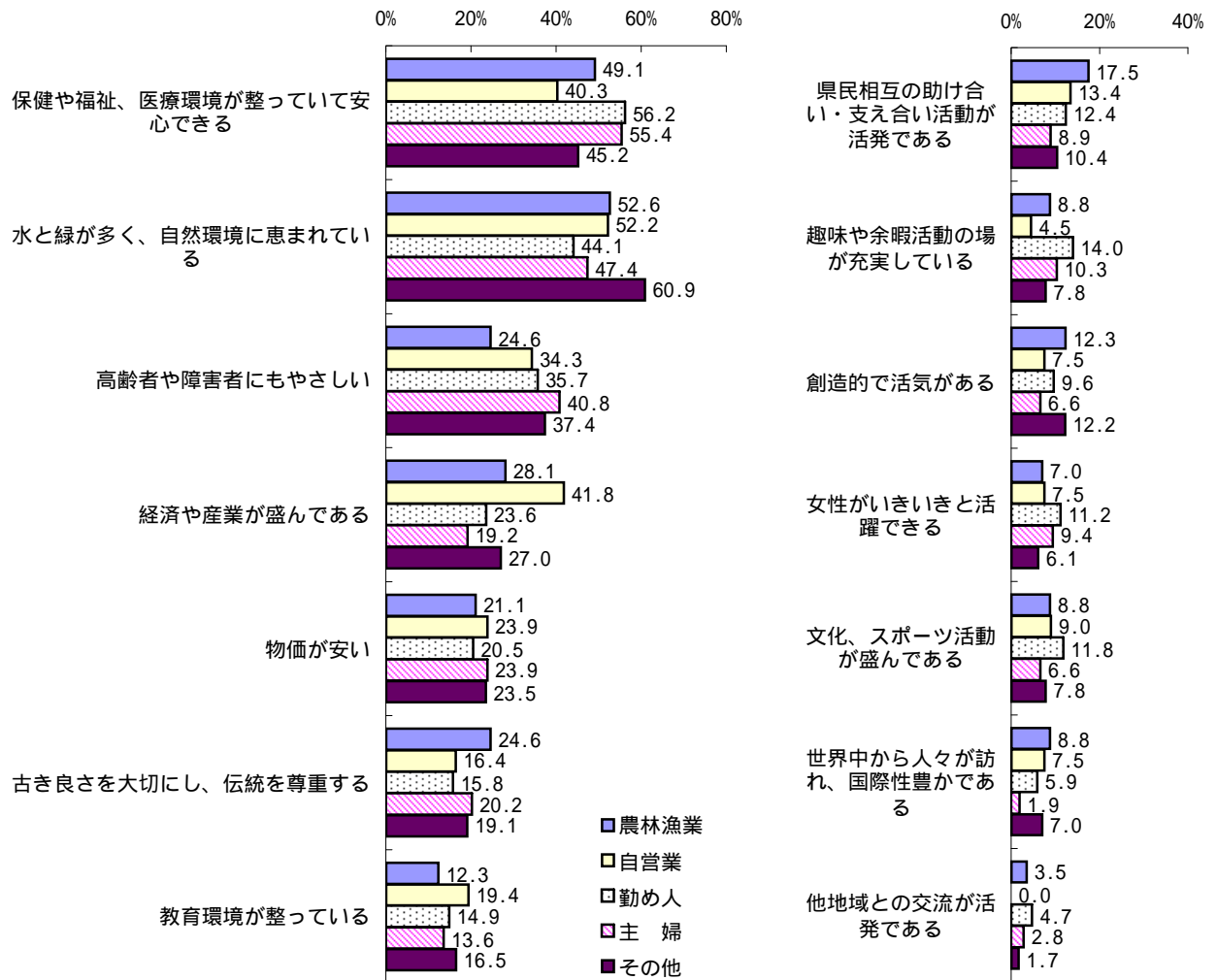
また、「高齢者や障害者にもやさしい」は宇摩圏域が特に高く、「経済や産業が盛んである」は八幡浜・大洲圏域、「物価が安い」は宇摩圏域及び松山圏域で、他の圏域と比較して高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、勤め人、主婦では「保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、農林漁業、自営業、その他では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」が最も高くなっている。

また、「高齢者や障害者にもやさしい」は主婦、「経済や産業が盛んである」「教育環境が整っている」は自営業、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」は農林漁業で、他の職業と比較して高くなっている。



4 県政への要望 問26 県政への要望

今後県政を進めていくうえで、あなたが特に力を入れてほしい施策は何ですか。次の(A)、(B)、(C)の中から一つずつ選んで番号を で囲んでください。

(%)

(A) 産 業

1 農林業の振興	15.8
2 水産業の振興	3.6
3 商工業の振興	8.2
4 中小企業対策	17.1
5 観光の振興	6.5
6 雇用対策	35.6
7 道路整備	13.2

(B) 生活環境

1 社会福祉の充実	28.7
2 医療、保健衛生機能の拡充	31.0
3 ボランティア活動の活性化	1.1
4 物価・消費者保護対策	20.9
5 公害防止対策、自然環境の保全	7.8
6 上・下水道、ゴミ処理施設の整備	6.8
7 交通安全対策	2.7
8 消防、防災対策	1.0

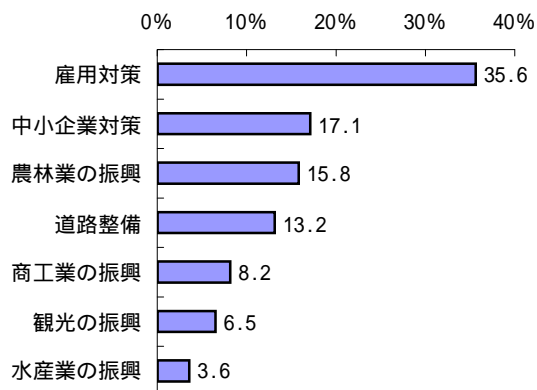
(C) 教 育

1 学校教育の充実	39.5
2 家庭教育の充実	17.1
3 社会教育の充実	26.8
4 芸術、文化の振興	7.3
5 スポーツ、レクリエーション活動の助長	9.3

今後、県政に望む施策について、(A)産業、(B)生活環境、(C)教育の3点に分けて質問した結果は、次のとおりである。

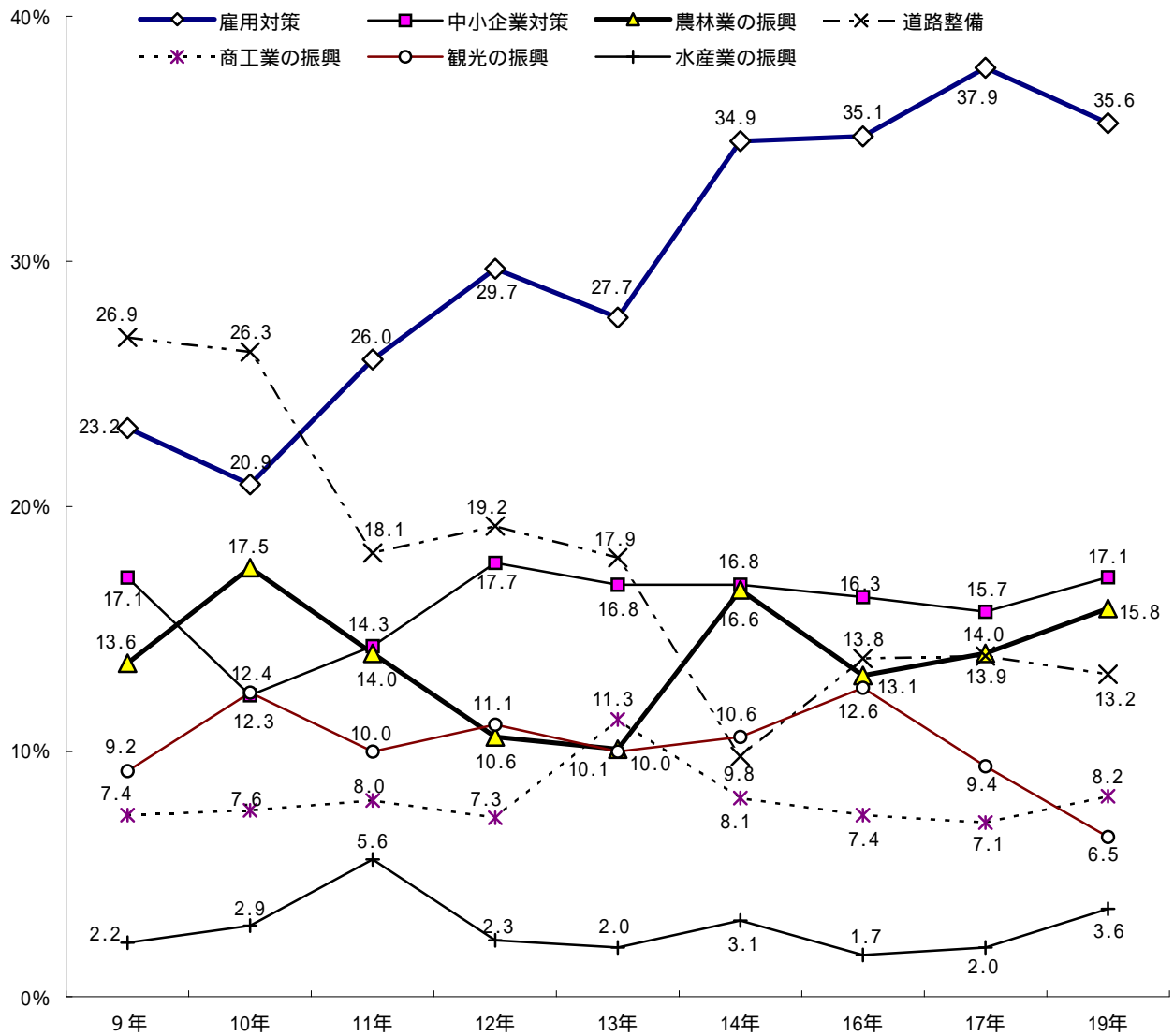
《産業面》

産業面で特に力を入れてほしいこととしては、「雇用対策」と答えた人の割合が35.6%と特に高く、以下「中小企業対策」(17.1%)、「農林業の振興」(15.8%)、「道路整備」(13.2%)などの順となっている。



【経年変化】

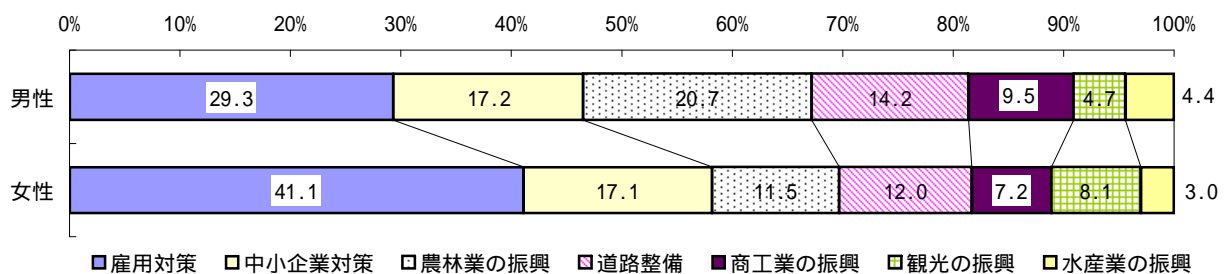
10年前の調査からの経年変化をみると、「雇用対策」と答えた人の割合が大きく増加する一方、「道路整備」は大きく減少している。



【性別】

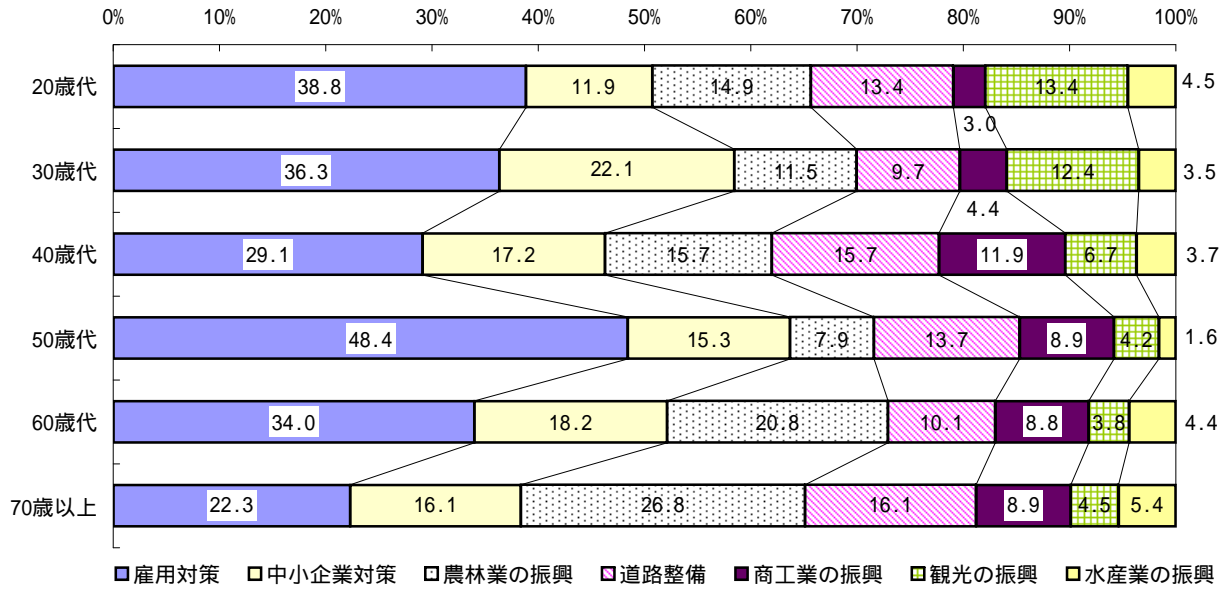
性別にみると、「雇用対策」と答えた人の割合が男性（29.3%）、女性（41.1%）ともに最も高くなっているが、女性の方が11.8ポイント多くなっている。

また、「雇用対策」と「観光の振興」を除く全ての項目で、男性が女性より多くなっている。



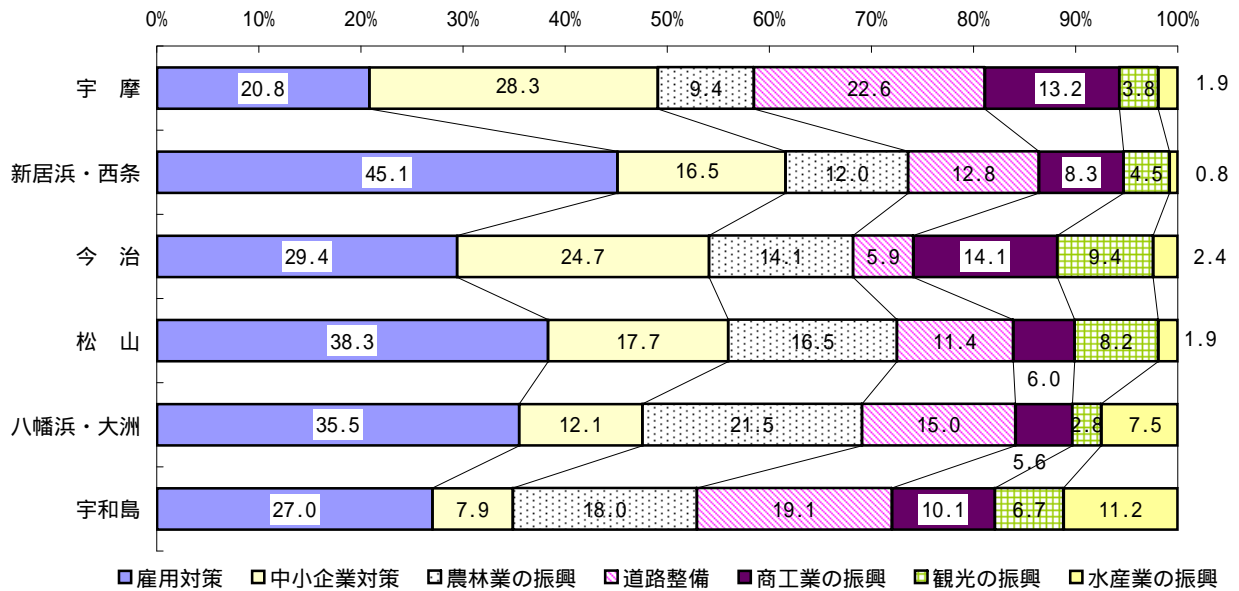
【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上では「農林業の振興」と答えた人の割合が最も高くなっており、その他の年齢層では「雇用対策」が高い。中でも、50歳代では48.4%と特に高くなっている。
 また、「中小企業対策」と答えた人の割合は30歳代、「道路整備」は40歳代及び70歳以上、「商工業の振興」は40歳代、「観光の振興」は20～30歳代で、他の年齢層と比較して高くなっている。



【生活圏域別】

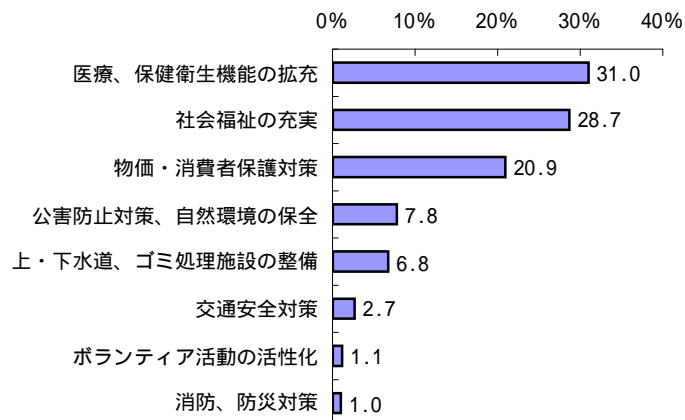
生活圏域別にみると、宇摩圏域では「中小企業対策」と答えた人の割合が最も高くなっており、その他の圏域では「雇用対策」が高く、新居浜・西条圏域では45.1%と最も高くなっている。
 また、「農林業の振興」は八幡浜・大洲圏域、「道路整備」は宇摩圏域、「商工業の振興」は今治圏域で、他の生活圏域と比較して高くなっている。



《生活環境面》

生活環境面で特に力を入れてほしいこととしては、「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が31.0%と最も高くなっている。

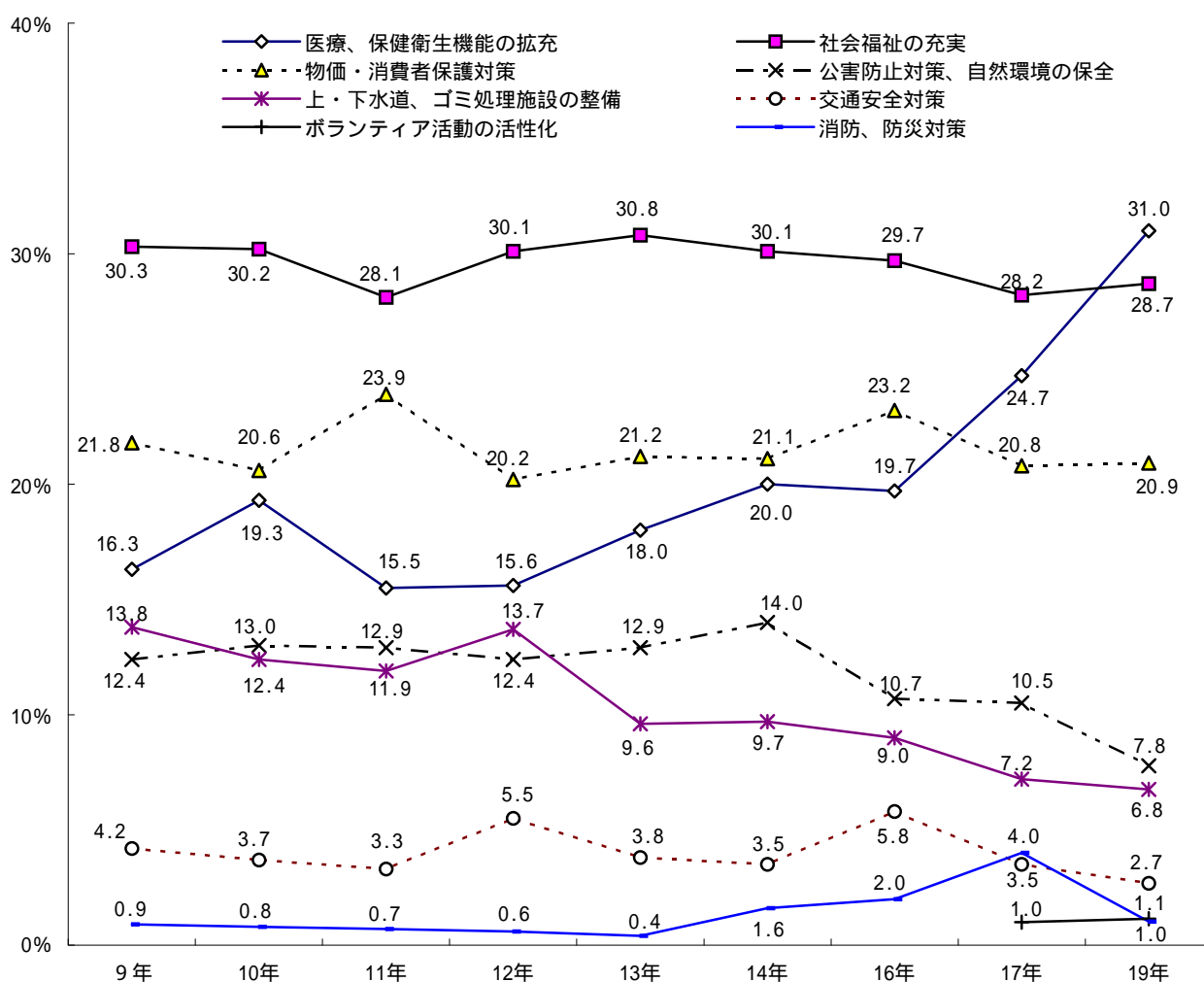
以下は、「社会福祉の充実」(28.7%)、「物価、消費者保護対策」(20.9%)、「公害防止対策、自然環境の保全」(7.8%)などの順となっている。



【経年変化】

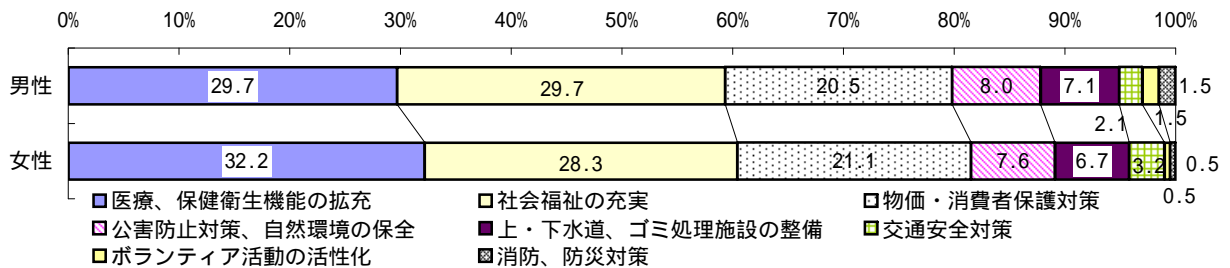
経年変化をみると、「医療、保健衛生機能の拡充」は大幅に増加し、初めて第1位となった。また、「公害防止対策、自然環境の保全」「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」は減少傾向にある。

10年前の調査と比較すると、「医療、保健衛生機能の拡充」は14.7ポイントと大幅に増加しており、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」は7.0ポイント、「公害防止対策、自然環境の保全」は4.6ポイント減少している。



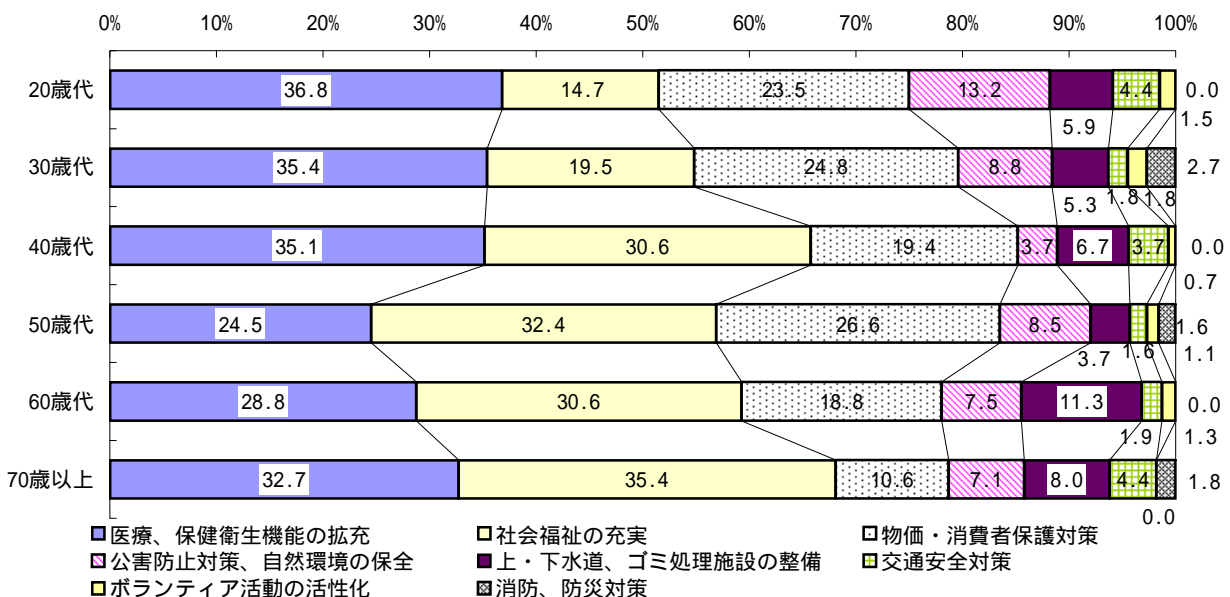
【性別】

性別にみると、女性では「医療、保健衛生機能の拡充」（32.2%）と答えた人の割合が高く、男性では同項目と「社会福祉の充実」が29.7%で同率だった。
 また、「物価・消費者保護対策」、「交通安全対策」と答えた人の割合は女性が男性より高く、それ以外の項目は男性の方が女性より高くなっている。



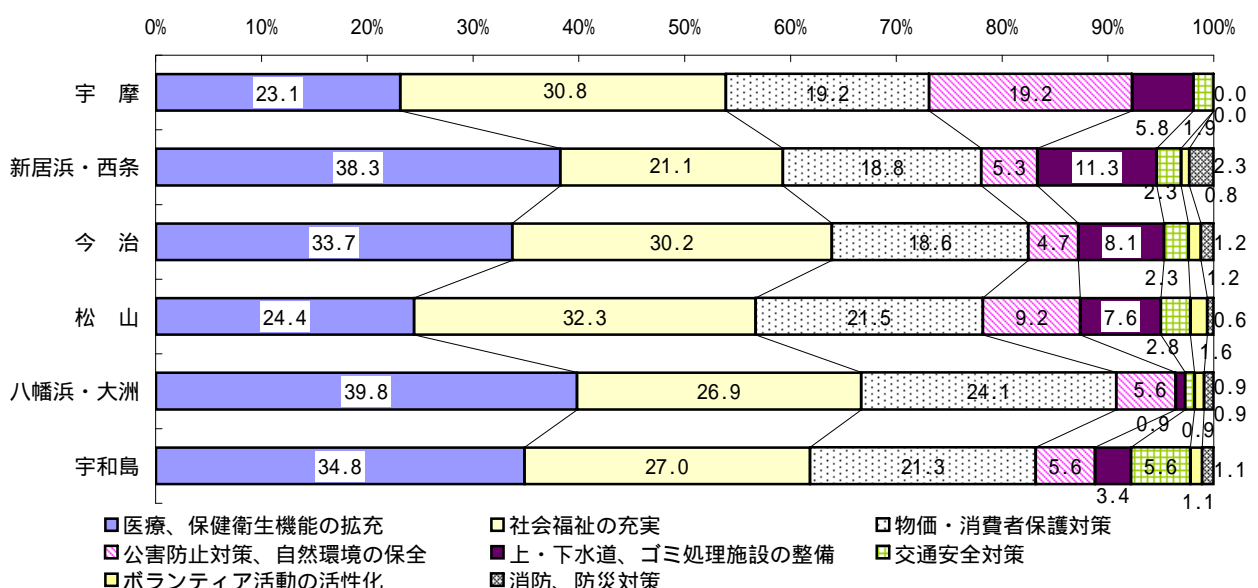
【年齢別】

年齢別にみると、20～40歳代では「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が最も高く、50歳以上では「社会福祉の充実」が最も高くなっている。
 また、「物価・消費者保護対策」は50歳代、「公害防止対策、自然環境の保全」は20歳代で高くなっている。



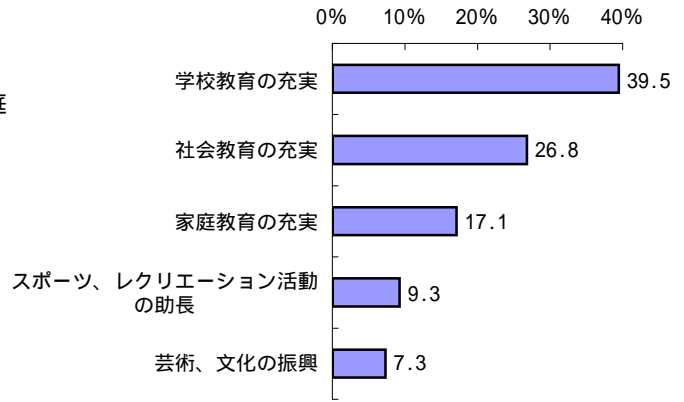
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩、松山圏域では「社会福祉の充実」と答えた人の割合が高く、その他の圏域では「医療、保健衛生機能の拡充」が高くなっている。
 また、「物価・消費者保護対策」は八幡浜・大洲圏域、「公害防止対策、自然環境の保全」は宇摩圏域で、他の圏域と比較して高くなっている。



【教育面】

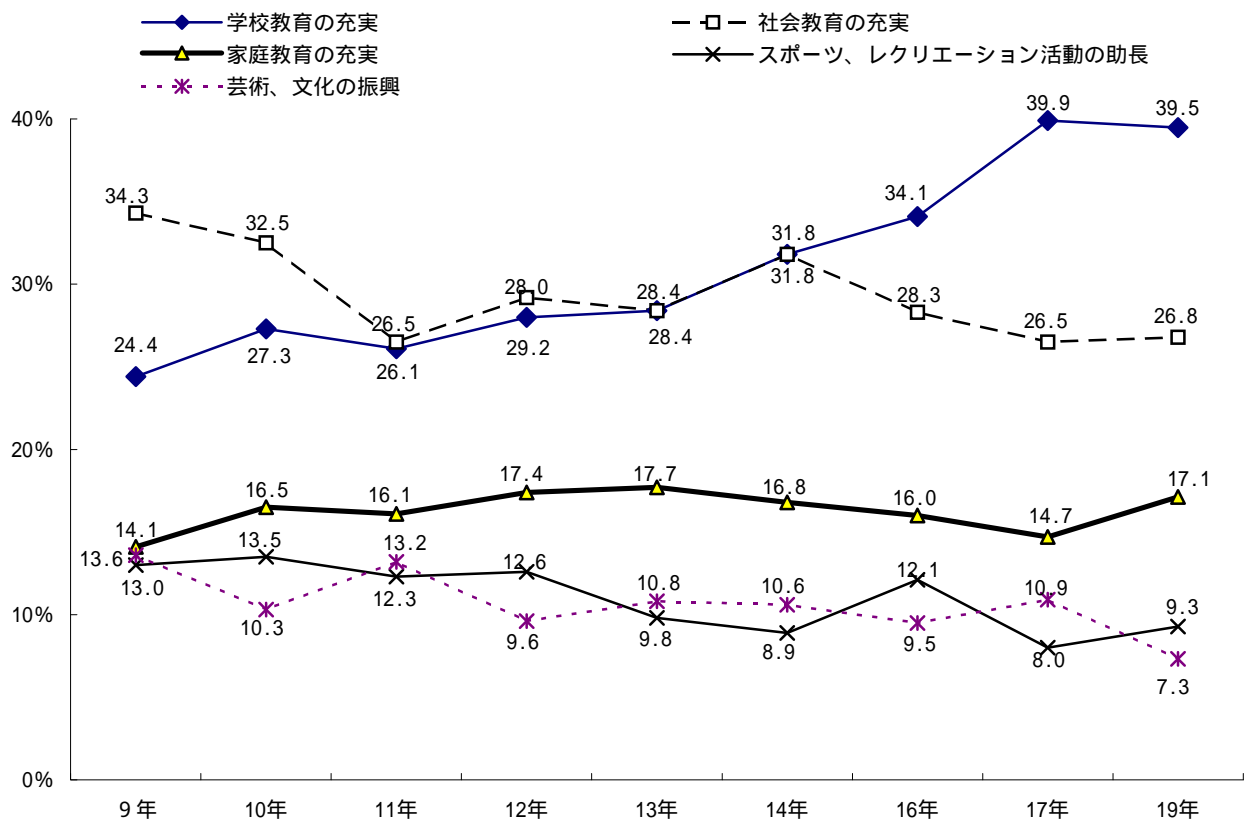
教育面で特に力を入れてほしいこととしては、「学校教育の充実」と答えた人の割合が39.5%と最も高く、以下「社会教育の充実」（26.8%）、「家庭教育の充実」（17.1%）、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」（9.3%）、「芸術、文化の振興」（7.3%）の順となっている。



【経年変化】

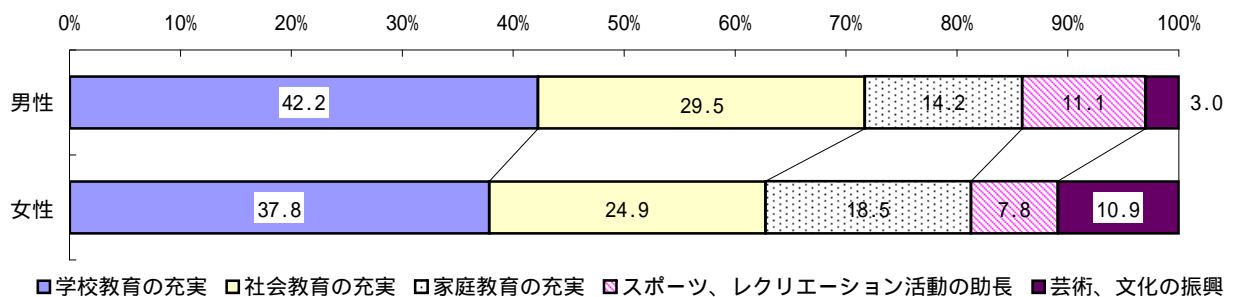
経年変化をみると、「学校教育の充実」が大幅に増加している。

10年前の調査と比較すると、「学校教育の充実」と答えた人の割合は15.1ポイント増加し、「社会教育の充実」は7.5ポイント、「芸術、文化の振興」は6.3ポイント減少している。



【性別】

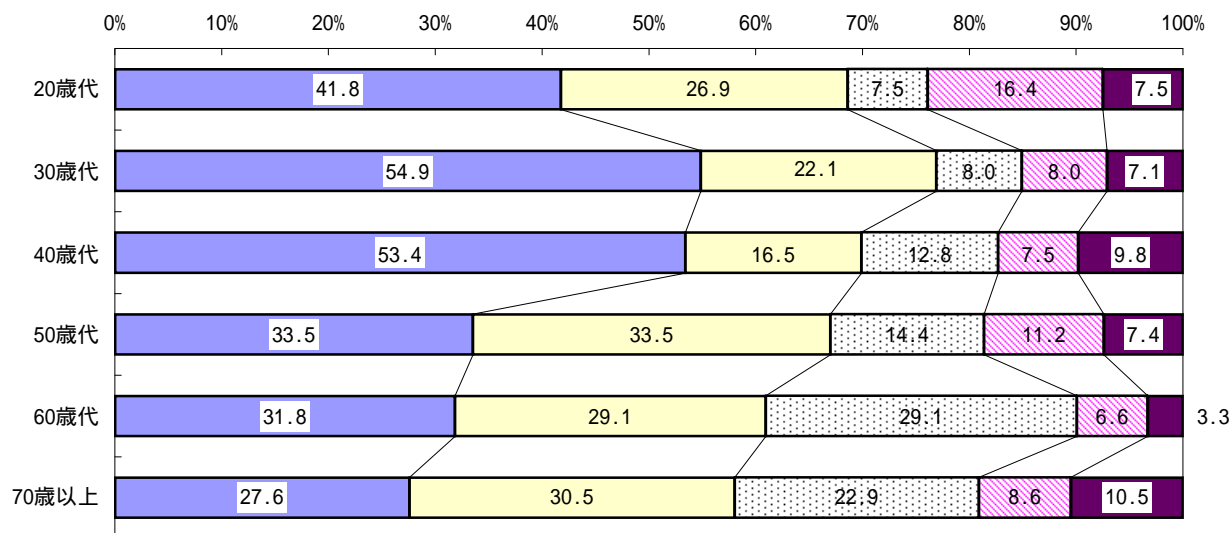
性別にみると、男女とも「学校教育の充実」の割合が最も多い。また、男性では「社会教育の充実」「スポーツ、レクリエーション活動の助長」と答えた人の割合が高く、女性では「家庭教育の充実」「芸術、文化の振興」が高い。



【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上では「社会教育の充実」と答えた人の割合が高く、50歳代では同項目と「学校教育の充実」が同率、その他の年齢層では「学校教育の充実」が高い。

また、「家庭教育の充実」は60歳代、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」は20歳代で、他の年齢層と比較して高くなっている。

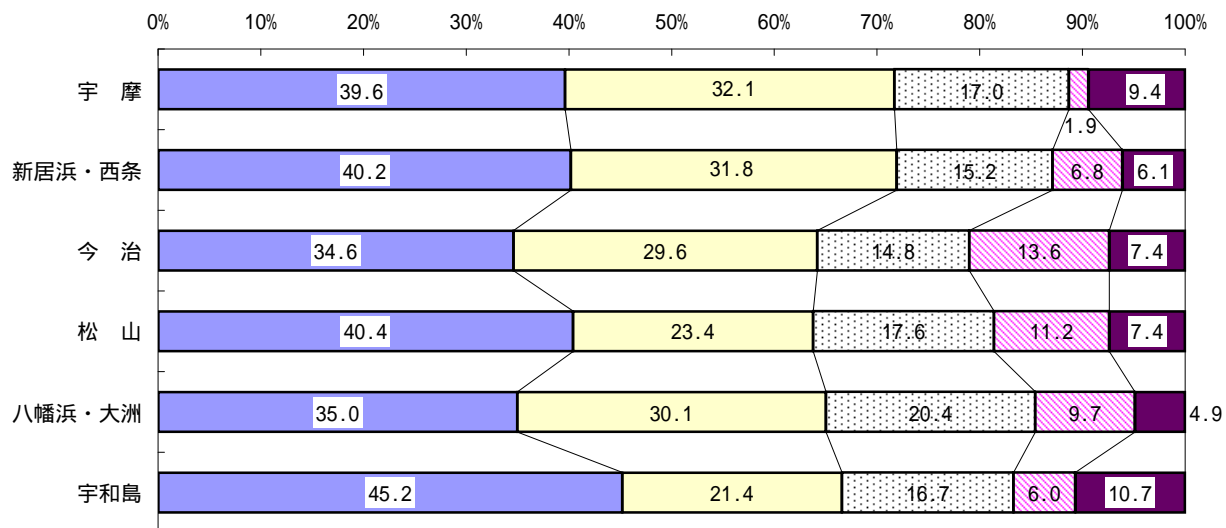


■ 学校教育の充実 □ 社会教育の充実 □ 家庭教育の充実 □ スポーツ、レクリエーション活動の助長 ■ 芸術、文化の振興

【生活圏域別】

生活圏域別にみると、すべての圏域で「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も高く、次いで「社会教育の充実」が高くなっている。

また、「家庭教育の充実」は八幡浜・大洲圏域、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」は今治圏域で、他の圏域と比較して多くなっている。



■ 学校教育の充実 □ 社会教育の充実 □ 家庭教育の充実 □ スポーツ、レクリエーション活動の助長 ■ 芸術、文化の振興